

観光社会資本の事例

テーマ	高水敷を多目的に利用する河川
【施設の状況写真】	
	
高水敷を整備することで、岡崎市街地の中にあって貴重な親水空間を提供しています。	
【施設の利用写真】	
	
花火大会や散歩等を楽しむスポットとなっています。	
【観光資源としての利用状況】	
乙川は岡崎市内を流れる河川で、沿川には岡崎城や岡崎公園もあり、春には桜祭り、夏には花火大会が催され、多くの人で賑わう観光スポットとなっています。 また、日頃から散歩を楽しむ人も数多くみられ、多目的に利用されています。	

テーマ	高水敷を多目的に利用する河川
【社会資本の基礎データ】 ○名称 乙川河川敷 ○所在地 愛知県岡崎市康生町 ○事業名 基幹河川改修事業 ○事業主体 愛知県 ○事業期間 昭和50年～平成15年	
【社会資本の役割・効果】 ○治水効果 乙川は昭和46年の台風23号がもたらした豪雨により、岡崎市街地に未曾有の水害をもたらしました。これを受け、昭和50年より河道改修事業に着手し、平成15年までに当該区間について、当面の改修目標である5年に一回程度生起しうる降雨(50 mm/h)に対する安全度を確保しています。 また、これに併せ、沿川の岡崎城や岡崎公園と一体となった河川緑地の整備を行い、現在では、高水敷を利用した花火祭りなど、地域住民の良好な河川空間として機能しています。	
【位置図】 	
【関連ホームページ】 岡崎市観光協会 http://www.city.okazaki.aichi.jp/kankokyokai/top.htm	

